

支援の過程

STEP1

緊急食支援

取り組み内容

<5/2(土)～緊急事態宣言の発令中>

- 1人暮らしの学生・留学生へ5日分の食材を提供
- **すべて無償**で提供
- 可能な限り生鮮食料品を提供

背景・補足

- 非常に切迫した状況があった
- 学生の「いのち」を繋ぐことが目的に
- 利用者は1週あたり1,400人近い水準

STEP2

自立支援

<緊急事態宣言の解除後>

- 学外企業と連携した支援（大阪王将など）
- 当初予定どおり**有償化**による支援へ
- **対象学生の雇用**（スチューデントジョブ）

- @1,000円で提供（有償提供の開始）
- 学生には日払いで給与を支給し、経済生活をサポート
- 支援の輪が学外に拡大
- 利用者は1週あたり400人程度に減少

STEP3

総合支援

<入構制限の緩和・日常生活の復活>

- STEP2の支援を継続
- 昼食は**生協食堂利用**に変更（瀬田は選択制）
- **「ことば」が紡ぐ「まごころ」PJ**（教職員提供の汚損ハガキなどを再利用して、学生からご縁のある方へ気持ちを伝える）

- 切迫感が大きく緩和した状況に
- 利用学生がいる限りは、最後まで食支援を継続する
- 大学生協と連携することで、学生の栄養面のバランスに配慮

STEP4

地域連携支援 地域経済の活性化

<「アフターコロナ」の時代に向けて>

- STEP3の支援を継続
- **地域の飲食店**と連携した食支援・地域経済の活性化
- 短期大学部の実習と連携する

現在の
到達点

- 予定通り8月上旬に食支援を終了
- 地域飲食店と連携した活性化の取り組みは8月末まで継続する
- 最終的に学生街の形成や地域社会と協働した大学づくりをめざす